



●シリーズ●
起業してがんばる人たち
「体に優しく幸せになるパン」
ゆきぱん 中村幸江さん(西里 白山堂)
8Pに説明があります。

各委員会が新メンバーに
新副議長のあいさつ
給付型奨学金などで質疑
議案の内容と審議結果
一般質問は9人
新庁舎特別委が始動 16P～19P

2P
4P
6P
8P
10P

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/1050.html>

山形県河北町議会 〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地戊81 ☎0237-73-2119 編集／広報広聴常任委員会

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きました。

寸劇で「オレオレ詐欺」撃退

●新町 古澤直義さん

河北町を拠点に寸劇活動している「SKIT かほく」です。高齢者の詐欺被害を少しでも未然防止できないかとの思いで、「オレオレ詐欺」や「振込め詐欺」そして「悪質商法」をテーマに、その手口を寸劇で紹介する活動をしています。公演の要請を受け各地区の公民館や公共施設などで寸劇を披露してきました。

特殊詐欺に遭う被害者は60歳以上の高齢者が8割を占め、その8割が女性という実態にあり、一向に減る気配がありません。次々に新しい手口の詐欺が発生しております。「SKIT かほく」ではそれらの手口を寸劇のシナリオにまとめ、練習を重ねながら地域の皆さんに披露しております。ご覧いただいた方々から「寸劇、分かり易くて良かった」と言われると、少しは役に立っているのかなと思い、次も頑張ろうと思います。まだ私達の寸劇を見てない地区には是非ご連絡いただきたく思います。そして議会には我々の活動に対する支援を宜しくお願い致します。



公民館大会で公演

映画上映で町に活力を

●桜西 松田さだ子さん

5月27日「サハトベに花」において、映画「歓喜の歌」の上映会がありました。この映画は、小さな町の2つのママさんコーラスグループと、町職員によるハートフルな涙ありの Comedy です。

町内はもとより、山形・寒河江・西川・朝日・大江・東根・村山等々630名の方が入場されました。映画の実行委員は、昭和41年谷地中学卒の同窓生と、ご協力者で構成され、3年前から続けております。おかげ様で、多くの方が、毎年、お友達やご夫婦で、谷地の「冷たい肉そば」を食べて、映画を観ることをとても楽しみにして下さるようになりました。

私たちの活動が、末長く続けることで、明るく、活力あふれる町づくりのお手伝いにつなげられるよう、全員心を一つにしてこれからもがんばりたいと思います。

議会のご指導、ご支援よろしくお願い致します。

編集後記

議会では、県内で一番耐震性が低く危険なことが判明した現庁舎を、国の期限付き(33年3月完成)支援制度活用でできるだけ早く改築しようとして、50年ぶりの役場庁舎改築に取り組んでいます。

5月8日に新庁舎建設特別委員会を立ち上げて調査・検討を重ね、「町民の意見を聞く会」で意見をお聞かせいただき、町民にとって夢があり誇りの持てる新庁舎にするため「新庁舎建設に係る提言書1」で木造の庁舎にすることなどを町長に提言しました。

議会だよりでは詳細を、議会ホームページで毎週の会議まとめを紹介しています。是非、ご覧下さい。

(きむら)

広報広聴常任委員会

委員長	木村 章一
副委員長	大場 勇人
委員	丹野 貞子
委員	細矢 誓子
委員	松田 賀好
委員	東海林 信弘

印刷／株式会社武田印刷



常任委員会委員の任期は2年となっており、5月8日の臨時議会で各委員会のメンバーが交替となりました。

また、松田收作副議長が議員申し合わせにより辞任したので、副議長選出を行い、丹野貞子議員が副議長に就任しました。(あいさつは4P)

新委員会のテーマとメンバーを紹介します。

産直の成功と起業支援 総務産業常任委員会



今年度のテーマは、
①人口減少対策について
②行財政計画の健全化について
③産業振興・起業支援について
の3つです。

以上3つのテーマを掲げ、イタリア野菜研究会、さかえ西村山農業協同組合、まちづくり関連団体、商工会、観光振興関連団体等との話し合いを行います。

さらに、今年度から始まる新庁舎建築にかかわる長期財政計画等を所管として町民目線にあった調査研究をして大いに提言して参ります。

写真は右から

松田 賀好 委員
大場 勇人 委員
吉田 芳美 副委員長
松田 收作 委員長
木村 章一 委員
漆山 光春 委員

厚生文教常任委員会は7人の中に2人の女性議員が入り、きめ細やかに町民の安全・安心に向けた諸課題に取り組んでいきたいと考えています。

今年度のテーマとして①福祉対策②環境対策③教育振興の3つを掲げ取組みます。

福祉関係については、河北町議会基本条例制定から6年余。その実践の中で新たな課題が浮上してきました。執行機関から提出される政策立案(構想・計画・予算・条例)等について、方針が決まった段階で議会に示され、調査時間の不足と議会意思が反映されなかった経緯があります。

福祉・教育の充実をめざし 調査・研究に取り組む 厚生文教常任委員会



民を対象にした英会話の普及対策、0才児からの子育ての充実などです。

特に、町内の届出保育施設の視察と保護者との意見交換などを予定しています。民生児童委員との懇談を行い、厳しい活動の実情を理解し支援の環境整備に努力したいと思っています。

こうした課題について委員会としての調査活動を積極的にを行い、町民の皆様に活動状況をホームページでお知らせするように考えています。

写真は右から

丹野貞子 委員
齋藤 隆 委員
東海林信弘 副委員長
槇 正義 委員長
増川 修 委員
細矢誓子 委員
石垣光洋 委員

議会だよりは年に4回発行ですが、記事のタイムリー性が重要です。読者の皆さんから「ちょうどこれを知りたかった」と手に取って読んでいただける記事を書くように努力します。

カタカナ言葉などに

分かりやすい説明を

カタカナ語や分かりにくい言葉に、分かりやすい脚

注説明文を付けることに努力します。

シリーズは起業してがんばる人たちです

今号からの表紙の写真シリーズは「起業してがんばる人たち」としました。

人口減少を止めるには、子育て支援の充実と合わせて、多様な働き場の創出だと考えました。

起業してがんばる人たちを紹介して、応援することを通じて、元気な河北町づくりの一翼を担います。

流し読みできる

議会だより

記事に見出しや、小見出しを付けて、ページをパラパラとめくっただけで大まかな内容が分かり、フツと気になる記事については、詳しく読んでもらえるような構成に心がけます。

写真は右から

松田賀好 委員
丹野貞子 委員
大場勇人 副委員長
木村章一 委員長
細矢誓子 委員
東海林信弘 委員

議会と町民の情報共有は 住民自治の根幹 議会運営委員会



議会が政策決定する過程の形態、手法について調査研究を進めていきたいと思っています。

また、執行部に提出した議会の「提案・提言」についても検証するという循環を進めて参ります。

さらに、議会と町民の情報共有は住民自治の根幹です。

議会ホームページや町民懇談会等の手法を充実させるために、議員全員の研修会を予定しています。

写真は右から

吉田芳美 委員
松田收作 委員
齋藤 隆 副委員長
漆山光春 委員長
槇 正義 委員
石垣光洋 委員

住民の知りたい ニーズに応える 広報広聴常任委員会



副議長就任のあいさつ

丹野 貞子



信頼と期待の中で活動することが求められています。町民との対話を積極的に進め、町民の声を町政に反映させる議会を目指します。

町民と共にある議会を
目指して

議会が目指すところは町民の生活・福祉の向上、町民が安全安心で暮らせ人口が増えるまちづくりです。

河北町議会基本条例にあるように、行政情報を最大限お知らせし、町民の意見をお聞かせいただく機会をできるだけ多く設けることが大事です。その仕事を進める議長を力強く補佐したいと考えています。

期待し信頼される議会

この基本条例は簡素で内容が充実していると評価を受けています。議会は町民を代表する機関としてその持てる機能を十分駆使して

町民が誇れる
夢のある新庁舎を

5月8日副議長就任のあと、新庁舎建設特別委員会の委員長も兼務することになりました。議長を除く13人で週一回のペースで委員会を開催しその都度まとめを議会のホームページに掲載しています。

町民が誇れる夢のある庁舎建設とするために、みんなが納得する形で町に提言できるよう、細やかな意見調整や議員間の連携に努めたいと思います。

議会が期待し信頼されるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

議会または議会の議員と関係のある各種委員会等委員

平成29年5月8日現在(議席順)

任 期				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
人 数 ()は慣例的人数				増川	吉田	松田	齋藤	漆山	榎	石垣	大場	松田	細矢	木村	丹野	岡田	東海林
各 種 議 員 及 び 委 員				修	芳美	賀好	隆	光春	正義	光洋	勇人	收作	誓子	章一	貞子	桂司	信弘
No.																	
1	東根市外二市一町共立衛生処理組合議会議員	3	2年						○	○					○		
2	西村山広域行政事務組合議会議員	3	2年					○			○					○	
3	河北町ほか2市広域斎場事務組合議会議員	3	2年				○					○				○	
4	河北町監査委員	1	議員任期中	○													
5	国道112号・287号・48号山形中央横断道路整備促進期成同盟会委員	(6)	常任委員任期中		○	○	○	○					○		○		
6	村山野川多自然型川づくり整備促進期成同盟会委員	(5)	常任委員任期中			○		○		○			○				○
7	白水川改修促進期成同盟会委員	(3)	常任委員任期中				○				○	○					
8	田井橋再架促進期成同盟会委員	(6)	常任委員任期中		○					○			○	○		○	○
9	最上川上流村山地区改修期成同盟会委員	1	常任委員任期中													○	
10	国道287号西村山地区、主要地方道天童寒河江線・天童大江線整備促進同盟会委員	1	常任委員任期中													○	
11	国道287号谷地橋四車線化促進期成同盟会委員	(6)	常任委員任期中		○				○	○			○			○	
12	河北町社会福祉協議会理事	(1)	常任委員任期中						○								
13	河北町社会福祉協議会評議員	(1)	常任委員任期中												○		
14	河北町農政調査会委員	(1)	常任委員任期中						○								
15	河北町民生委員推薦会委員	(2)	常任委員任期中					○									○
16	河北町水防協議会委員	(2)	常任委員任期中			○									○		
17	河北町都市計画審議会委員	(2)	常任委員任期中		○												○
18	河北町土地開発公社理事	(3)	常任委員任期中									○	○			○	
19	河北町土地開発公社監事	(1)	常任委員任期中					○									
20	河北町交通安全推進協議会理事	(1)	常任委員任期中			○											

表彰紹介

5月10日、山辺町の「紅ほたる」を会場に村山地方町村議会議長会の自治功労者表彰式が行われ、河北町議会からは丹野貞子副議長と松田收作議員が受賞しました。

「町村議会議長として、4年以上、議員として9年以上在職し功労があった者」という規程で、河北町、中山町、西川町、朝日町、大江町、山辺町から12人が表彰されました。

写真は

前列左端が丹野副議長
後列左から3番目が松田(收)議員



イタリア野菜研究会
町おこしにも貢献

総務産業常任委員会

に売り出かけて販路を広げてきました。

有名シェフから

高い評価

また、売り込みの展示会などにも積極的に出展して、常にテレビや新聞などの話題になっていきます。

全国的に有名な落合シェフや奥田シェフなどから高い評価を得ています。

町内企業との

セット販売

同研究会は町内外でイタリア野菜の料理講習会や収穫体験ツアーにも取り組んで

イタリア野菜づくりで
高評価の技術を獲得
同研究会は町などの支援を受けながら、平成22年からイタリア野菜の栽培・研究に組み、高く評価される野菜づくりの技術を獲得し、「かほくイタリア野菜」のブランド構築に成功しています。

レストランに直接の
売り込み

25年6月から販売を開始した同研究会は、国内にはイタリア野菜の卸業者がないため、直接レストラン



います。

また、町内企業の商品とのセット販売やベースト加工、カット野菜などの加工販売にも挑戦しています。

受給のバランスが課題

27年は商品選定に苦労し、28年は会員同士の情報共有を図りましたが、供給が必要を下回りました。同研究会は需要と供給のバランスについて研究しながら野菜づくりと販売に取り組んでいます。

産直盛り上げに貢献へ

河北の産直施設では、販売ブース設置を予定しています。

産直盛り上げにどのように貢献するか深く研究中のことでした。

同研究会と産直と町内農家が、大いに盛り上がるように、委員会としても支援します。

県議選挙区の合区と
定数減に反対

6月議会では、山形県議会に対しての要望書が松田收作議員から提案され、8対5で議決し、県議会議長に要望書を手渡しましたので、要望書の全文を紹介いたします。

平成29年6月16日
山形県議会

議長 志田 英紀殿

副議長 星川 純一殿

河北町議会議長

岡田 桂司

次期山形県議会議員選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び選挙区別定数の現状維持を求める要望書

日頃より、県政に対し、寒河江市・西村山郡住民の意見反映に特段のご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

先般、県議会におきまして、次期山形県議会議員選挙の実施に向けた検討委員会において、選挙区及び選挙区別定数の検討結果が報告されました。

報告書では、現在の寒河

衡ある発展を進めていくうえでも地域住民にとって当然のことであります。つきましては、寒河江市・西村山郡に居住する住民の意見を県政へ反映させるため、次期選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び定数について、下記のとおりに要望いたします。

記

1 次期選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び定数は、現在の寒河江市(定数2名)、西村山郡区(定数2名)を維持すること

2 万が一、選挙区の統合を図る場合は、現在の定数合計の4名を維持すること



要望書を手渡す岡田議長

6月議会
6日～9日

6月議会では、補正予算案と新規の条例案に条例改正案、請負契約、人事議案、請願と国への意見書が提案され、いずれも可決となりました。
議案審査の質疑について紹介いたします。審査結果は8Pに掲載しました。

毎年一千万円の町民寄付活用 8割・5百万円まで起業支援

素晴らしい取り組み

問 町民から年に1000万円の寄付申し入れがあり、

毎年600万円を起業支援に活用する条例案と予算案が提案されている。とても



起業の先輩 甘酒も美味しい矢ノ目麴屋さん(南町)

素晴らしい取り組みだ。
起業する者の背中を強く押すために、併せて空き店舗や空き家を町が借りてトイレなどを改修し、3年程度の期間限定で貸事務所や作業所を準備すべきだ。
商工観光課長 全国に呼び掛けて、河北町で起業する者を募り、締め切ったら審査会を開き、定めた費目の8割、最大500万円までの起業支援をする。
空き店舗など活用については、町で借りるのではなく、当面は借りた者に貸したい者を紹介するマッチングに努める。

毎年10件ほどの起業者

問 起業する者はここ数年では、何人ぐらいいるのか。また今年は、すでに問い合わせなどあるのか。

商工観光課長 起業者は町内で26年度は11件、27年度は9件、28年度は10件あった。
今年はまだ受付をしていないが、2件ほど商工観光課や商工会に相談が来ている。

消防団員の防寒着 早く全団員に支給を

問 消防団員への防寒着が支給されるようだがいいことだ。何着分か。

環境防災課長 全団員に早く支給されるように強く要望する。今回は、コ

ミュニティー助成事業という制度を活用して、72着を班長以上に準備する。
全団員分については、今後配慮したい。



山火事で連日出動した消防団

地域おこし協力隊

3人が活動開始へ

問 地域おこし協力隊予算の減額はなぜか。べに花おとめの活動状況はどうか。

政策推進課長 5人予定しているが、現在は3人が着任している。
残り2人は9月以降に予定しているもので、9月までの分を減額した。

べに花おとめは、町のPRのため活動している。今後は東根サクラランボマソンに参加も予定している。

障がいのある子どもに特別支援員を配置

問 認定こども園で、特別支援の人員費を増額するが、どういう状況か。

健康福祉課長 身体的、知的あるいは発達障がいと認定された子どもに、河北町独自に特別支援の支援員を配置している。
今年は、あいこども園とひなのこども園で合わせて7人分を予算化していたが、途中で1人認定になったので特別支援員の追加を予定している。

年50万円の給付型奨学金 ほかと重複受給も可

問 町民からの1000万円の寄付から、400万円が、給付型奨学金として活

用される。画期的で素晴らしいことだ。
その内容と、これまでの

貸与型奨学金ほかとの関係はどうなるか。

学校教育課長 町の貸与型奨学金は大学生の場合、月に4万円ずつ年間48万円支給し、卒業後に返還していただく。
給付型は、年間50万円を8人の大学生に給付し、返還しなくともよい。

親などの保護者が河北町民であれば、受給資格があり、申請には在学の証明書が必要となる。
貸与型奨学金などを受けていても、重複して今回の給付型奨学金を受けることができる。

新庁舎の検討

庁外の委員で発定

問 新庁舎整備費の謝礼と測量費とはなにか。

総務課長 役場外部の検討委員会を組織するのでその経費を計上している。
測量費とは、現在の役場の建物・敷地の測量を行うための予算だ。

どんな庁舎にするのか 8月初旬に意見を聞く

問 新庁舎建設で、どんな庁舎にするのかを決める基本計画が大事だ。

町としての段階で町民の意見を聞き、基本計画に反映させるつもりか。

総務課長 9月までに基本計画を決めたいので、その前のたたき台(概略案)が



役場庁舎に近接する河北町児童動物園

出た段階の8月初旬に町内4か所で意見を聞きたい。併せて、※パブリックコメントにも取り組む。

※町などが原案を公表し町民の意見を求め、それを考慮して決定する制度。

町のメールマガジン
いよいよ配信

問 6月から町の※メールマガジンがスタートした。どんな内容で、登録の状況はどうか。

政策推進課長 町の情報、子育て支援、ふるさと納税や移住定住の情報が登録した携帯電話やパソコンに送られ、見ていただける。続々と登録者が増えている。
※ホームページ運営者から登録者に、継続的に届けるメッセージ。直接届き、より身近に受け取れるというメリットがある。

メールの保存ルール
印刷して紙で保存

問 国会で大問題になっているが、町行政が使うインターネットメールの公文書としての取り扱いルールは定まっているのか。

総務課長 メール取り扱いルールは決めていない。必要なメール文書は、紙に印刷して保存している。時代にふさわしい管理ルールにしていきたい。



子どもたちの未来に教育支援を(河北中の卒業式)

米価が生産費を大きく下回る水準に急落し、多くの稲作農家が作り続けられないという状況が生まれています。また、安いコメの定着によって、生産者だけでなくコメの流通業者の経営も立ち行かない状況となっています。

こうしたなか政府は、農地を集積し、大規模・効率化をはかうとしています。が、この低米価では規模拡大した集落営農や法人ほど赤字が拡大し、経営危機におちいりかねません。

平成25年度までは、主要農産物、米・麦・大豆などの生産を行った販売農業者



共同で田植えをする農家の皆さん

請願・審査

農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願書

【請願者】
農民運動山形県連合会
会長 小林 茂樹
【紹介議員】齋藤 隆
【請願趣旨】(大要)

に対して、生産に要する費用と販売価格との差額を基本に交付する「農業者戸別

所得補償制度」がとられ、多くの稲作農家の再生産と農村を支えてきました。

平成26年度からは「経営所得安定策」に切り替わり、コメについては10aあたり7500円の交付金へと引き下げられ、稲作農家の離農が加速し、地域がいつそ

ら廃止されようとしています。

これでは、稲作経営が成り立たないばかりか、水田のもつ多面的機能も喪失し、地域経済をますます困難にしていまうことはあきらかです。

私たちは、いまこそ欧米では当たり前となっている、経営を下支える政策を確立することが必要だと考え

ます。

平成29年度予算総額は、歳入歳出それぞれ14億4151万円、前年度当初予算比較で8803万円増額となるものです。

主なものとして、消防及び救急業務に係る経費10億8071万円、老人ホーム明鏡荘の運営にあたる経費1億7675万円などです。

その他の議案としては、専決処分報告の損害賠償額の決定と、専決処分承認の構成団体である、置賜広域病院組合が、平成29年4月に名称を変更し、早急に山形県市町村職員手当組合規約を変更するものです。

【請願項目】
農業者戸別所得補償制度を復活させるように、国に対して強く要望すること。

【審議結果】
賛成全員で採択し、意見書を提出しました。



山火事で活動する消防隊員

〈6月定例会〉

議第25号～26号は5月臨時議会
(議長は採決には加わりません)

賛成…○ 反対…● 欠席…欠 退席…退

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	増川修	吉田芳美	松田賀好	齋藤隆	漆山光春	榎正義	石垣光洋	大場勇人	松田收作	細矢誓子	木村章一	丹野貞子	東海林信弘	岡田桂司
		議長	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議第25号	町税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分について 地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
26	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分について 地方税法の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
27	平成29年度 一般会計第1回補正予算について 歳入歳出2,847万円補正 歳入歳出予算総額88億7,947万円 消防団の防寒衣購入、人材育成奨学金給付及び起業支援補助金など増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
28	平成29年度 公共下水道事業特別会計第1回補正予算について 歳入歳出73万円補正 歳入歳出予算総額9億8,702万円 人事異動に伴う人件費の増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
29	平成29年度 介護保険特別会計第1回補正予算について 歳入歳出8万円補正 歳入歳出予算総額21億4,402万円 介護認定調査員の変更に伴い、調査員報酬や社会保険料についての増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
30	平成29年度 水道事業会計第1回補正予算について 収益的収入:18万円補正 収益5億3,016万円 人件費負担金の増額。 収益的支出:586万円補正 水道事業費用5億689万円 人件費の増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
31	人材育成及び起業支援基金設置条例の設定について 人材育成及び起業支援を図るため、基金設置条例を制定する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
32	公共下水道汚水管路施設工事(第241工区)請負契約の締結について 工事場所:溝延地区内 工期 平成29年6月12日から平成30年1月26日 契約金額5,130万円。 契約者:升川建設㈱社長 升川 修と請負契約。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
33	消防小型動力ポンプ付軽積載車の取得について 契約台数:2台 契約金額:979万円 納入期限:平成29年9月29日。 契約者:日本防災工業株式会社 山形営業所 所長 小林 英俊と契約。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
34	除雪車の取得について 契約台数:1台 契約金額:2,074万円 納入期限:平成29年11月30日。 契約者:昭和建機株式会社 代表取締役 石川 清と契約。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
35	固定資産評価審査委員会委員の選任について 奥山 仁六氏(畑中)を固定資産評価審査委員会委員に選任する。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
請願第1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願 請願者 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議員発議第2号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書の提出 発議者 総務産業常任委員長 松田 收作	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議員発議第3号	次期山形県議会議員選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び選挙区別定数の現状維持を求める決議の提出について 発議者 松田 收作	可決	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	一

国産小麦粉を使い、甘味料の代わりに玄米甘酒を使うパンもあります。

起業した頃は苦労しましたが、商工会の創業塾がとても参考になり、支えになったと話します。

ふつくと優しいお顔は来店して下さる皆様からとても愛されています。



中村幸江(ゆきえ)さんは若い頃東京で味わたたドイツの有名なドンクのパンにあこがれ、いつか自分でも作りたいという夢を叶えたいと定年退職を機に、平成26年12月に、ゆきぼんを起業しました。

国道287号線沿いの白山堂に店舗を開き、「体に優しい幸せになるパン」をセールスポイントに製造販売をしています。

表紙写真の説明
●起業して
がんばる人たち

町内産木材を活用した 新庁舎建設を

最適な活用法を 検討していく



槇 正義 議員

かした最適な活用法を検討
していきたい。

公共建築物等におけ る木材の利用促進に 関する法律

問 西里財産区の杉は、植
林から60年が経過し伐採期
を迎えており積極的に新庁
舎建設に活用する必要があ
る。議会として現地調査や
西里財産区管理会との懇談
を踏まえ、町長に財産区杉
材の有効活用を提言してい
る。

町長 熊本地震を契機に庁
舎建設に対する国の財政支
援が設けられ、役場新庁舎
建設計画を進めているが、
議会からの提言や西里地区
区長会からの要望があり、
新庁舎建設にあたっては西
里財産区の杉材の特質を生

山林火災 防災無線は沈黙 町民の声は「いつ使うの」

災害その他の緊急を要する 事態の発生と予想された時



吉田 芳美 議員

ならない行動を起こす際に
放送する。

災害は予告なし 見直しを

問 今回の山林火災は放送
に値しないのか。現場近く
の町民は乾燥注意報と強い
風が吹く中、立ちのぼる煙
と時折樹木を飲み込み真っ
赤に燃え上がる火柱を見て
我が家に飛び火して来ない
かと不安な時を過した。

町長 防災無線の設置目的
は災害情報の周知徹底を迅
速、かつ的確に伝達する目
的で屋外拡声器を21か所設
置。

平成26年4月から運用を
開始。以降17時の音楽や選
挙広報、交通安全等が主だ。

ふるさと納税

町の返礼率はどのくらい

問 寄付額に対する返礼率
を3割以下に求める総務省
通知を受けて、町の対応は。

視察を行ったが、新庁舎建
設に活用する視点から早急
に現地調査すべきではない
か。

町長 現地の杉林などを早
く調査し新庁舎建設に活か
せるようにしたい。

町と財産区との共同 管理の拡充を

問 毎年実施している山検
分や管理道の下刈り、また
西里地区全世帯からの協力
金をいただき運営をしてお
り、町との共同管理の拡充

を期待している。

町長 今後は山検分への参
加、森林の活性化の情報提
供と勉強会など連携を広げ
ていきたい。

そのほか河北町総合戦略
の課題も取り上げ、特に外
部有識者による検証を3月
に立ち上げると先の3月議
会で答弁されたので、その
検証結果と対策について
伺ったが、庁内作業の検討
に留まっていると答弁が
あった。



立派に育った西里財産区の杉



災害情報は迅速かつ的確に(21ha焼失の現場)

町長 通知があった段階で
返礼品の指定を受けていた
ので用意している分は変更
出来なかった。
今後追加する場合は他自
治体の動向を参考にする。

新規卒業者の奨励金 福祉施設にも適用を

問 町内に住所を有する新
規卒業者が介護施設に就職
した場合、介護老人保健施
設は対象となり介護老人福

祉施設は奨励金の対象外と
なる。

若者定住に結びつける施
策であり改善を。

町長 同じ職種の人でも就
職する施設によって補助金
の対象となったり対象外と
なる様なことは改善したい。

他に、谷地高より朝日町
役場までの県と1市4町広
域連携による通学バス試験
運行についても質問。

紅花資料館に館長の配置を 観光協会と協議して検討する



漆山 光春 議員

いく。

現代に息づく 「紅」に触れる

問 日本人の心を魅了した
伝統の色彩「本紅」のリッ
プ体験を提案するがどうか。

町長 指定管理者である観
光協会と話し合っていく。

問 資料館は教育機関だ。
資料の収集、保管、展示及
びこれに関連する事業をつ
かさざる学芸員の資格を
持った館長が必要だ。

町長 配置の必要性は認識
しており、観光協会と協議
して検討する。

紅花の開発拠点を整備 西部保育所跡地に設置

した施設の目的は。

町長 園芸用温室を設置し
て紅花の通年栽培や既に試
験栽培で成功している水耕
栽培方式を計画している。
その模様を温室に設置して

いる※ウェブカメラの画像
でインターネットを通じて、
スマートフォンなどで鑑賞
できる。

※カメラを設置し、スマー
トフォンやパソコンで
いつでも見られるよう
にすること。

問 近年、国内旅行で「地
域主導型」と呼ばれる新た
なコンセプトに注目が集
まっている。本町の観光戦
略などについて地域が主体
となっていく着地型観光推
進の組織化を提案するがど
うか。

町長 周りの動向を注視し
ながら観光協会と共に考え
ていく。



観光客で賑わう紅花資料館

起業者の背を押す

すてきな起業支援制度を

全国から公募し

準備から支援可能



木村 章一 議員

すてきな起業支援と

給付型奨学金が発足

問 町民から毎年1000万円のご寄付をいただき、そのうち600万円を起業支援に、400万円は返済のいらない給付型奨学金に活用するという条例が提案されている。とても素晴らしいことだ。

規程 詳しい決まり案によると、起業に成功した後、成功報酬のように起業支援金が支払われることになっているが、準備から支援し、起業失敗のリスクを半減させて、起業者の背中を押すような支援金とすべきだ。また、空き店舗などを町

が借りて整備し、期限付きの事務所や作業所として、低い家賃で提供すべきではないか。

町長 起業に向けた準備を支援できるようにする。

貸事務所について町は起業者に貸主を紹介する。

商工観光課長 町は起業者を全国からインターネットで公募し、期限までに応募した者の起業計画を審査して決定し支援する。

枝豆の通年販売で産直を必ず成功へ

産直を必ず成功へ

問 農協が10月にオープン予定の産直施設は、必ず成功して農家所得の向上を実現してほしい。

そのためには、特徴ある産直づくりが必要だ。例えば加工所に、枝豆やさくらんぼがそのまま保存できる

食べられる産直というのは私も同じ考えた。

※磁場を振動させ、マイナス40℃で一気に凍らせ細胞膜をこわさないで冷凍できる冷凍機

加工所でおにぎりや

ぬただんごの開発を

問 またおはぎだけで年間数億円販売するスーパーもある。産直加工所で独自の美味しい焼きおにぎりや、ぬただんごを開発してどうか。

町長 加工所は農協が計画中で、充分協議したい。



日に2万個売れる名物おはぎ
河北の産直にも名物を

「高木もよさん」の坐像を
全国発信し観光資源に

活用可能と判断
できたら対応したい



丹野 貞子 議員

一万人を取り上げた
産婆さん

問 溝延八幡神社の右手に坐像が建立されている「高木もよ」さんの顕彰について。

町長 高木もよさんは慶応3年に溝延村に生まれ18歳で産婆さんになり、60年間で一人もの赤ちゃんを取り上げた。その功績については現在町内の小学校3、4年生の社会科副読本で紹介している。

介している。ほかに「河北町の発展につくした人たち」は、石川賢治さん、堀米四郎米衛さん、鹿野武エ門さん、逸見庄左衛門さん、田宮五郎さん、松本一笑軒さんも紹介している。

町の宝 命の大切さを学ぶ教材

問 助産師の鏡として看護学校などに広く紹介してほしい。

町長 高木さんの職業人としての偉業もさることながら、愛情を持った生き方をされた方として町内の子どもたちが、命の大切さなどを学ぶきっかけとなつてほしい。

問 坐像を全国発信し町の観光資源にしては。

町長 活用できるかなどを関連団体と十分検討し、可能と判断できれば今後、写真や簡単な説明文を載せるなどの対応をしたい。



溝延八幡神社前にある「高木もよ像」

着実に成婚ケース

町の婚活活動

問 婚活の実態はどうか。また、講演会など開催しボランティア有志の組織化と強化策を進めてはどうか。

町長 毎月第2火曜日総合福祉センターで「婚活カフェ」を開催し気軽に立ち

寄りお茶を飲みながらお話できる場所を提供している。

昨年度は1組成婚。また、現在お付き合ひ中や婚約に向け進んだカップルもいる。

提案については今後につながるものだと考える。

谷地橋4車線化

今後の見通しは

県を通じて

勉強会で進展させたい



松田 収作 議員

谷地橋4車線化について

問 谷地橋4車線化については要望活動を始めてから28年経っている。実現に至らないが原因か。

町長 国道287号は山形空港、山形新幹線、東北中央自動車道など太平洋から日本海側に至るルートである。

通過する車両台数も年々増加し朝夕の渋滞は慢性化しており、県に対して早期に着工するように要望していく。

町民大会を開催へ

問 実質的な要望活動の進

め方は。

町長 県と連携し関係市町の事務レベルで勉強会をスタートさせた。

今後、町民大会を開催して強力に働きかけていきたい。

使途は町に一任

問 旧北谷地保育所の活用について。

町長 北谷地地区の区長さんとの話し合いの結果、更地にしてはとの意見もあったが町に一任することになった。

問 更地にするとしても、使用目的がなければ遊休地になってしまうのでは。

町長 今後とも地区民の方々と協議して、有効活用されるように検討していく。

空き家305戸

問 空き家、空き地の現況について。

町長 空き家台帳によると平成28年末で空き家が305件、危険空き家が9件と

把握している。各区長さんたちの協力を得て解消に努めたい。



渋滞が続く谷地橋

米の生産調整見直し後の
農業経営支援は
産直など活用し
農家所得増へ



石垣 光洋 議員

問 平成30年から減反政策が廃止になるが対応は。

町長 全国的な需要に応じた主食用米生産に取組むことが重要と考える。

問 助成を受けていた農家戸数は何戸か。

町長 平成28年の米の直接支払交付金は、200件の申請に対し、6400万円余りを交付している。

問 国の農業支援を受けるため、町はどう指導しているのか。

町長 支援事業の情報を把握し、地域の特性を生かした産地形成の事業に取組

み、農業の活性化につなげていく。

問 米の作付けの誘導は行

町長 町による作付け誘導によるものでなく、生産者の販売戦略によるものと考え

とも補償は継続する

問 農家経営に米価の安定は欠かすことができない。

町長 生産調整の実効性を確保するうえで、とも補償は有効。生産数量目標の配分方法が確定していないので、方向性が示された段階で、検討を進める。

産直で農家所得増へ

問 小規模の面積でも所得

を得られる農家を増やす考えは。

町長 経営規模の大小に係なく、地域住民の方にも参加いただきながら農業・農村の維持に努めていただいている。

兼業農家を含めた多くの農家が、平成29年秋にオー

取組む。

ふるさと納税は

はえぬきが好評

問 返礼品として、どのくらい対応できるのか。

町長 平成29年産米では、「はえぬき」が897トン、「つや姫」78トンを確認し返礼品として対応していく。



転作大豆の農作業

新入学児童生徒学用品費の入学前支給を

県の助言を得ながら
検討したい



齋藤 隆 議員

問 文科省から出された各都道府県教育委員会教育長宛の通知「平成29年度要保護児童生徒援助費補助金」についての認識は。

町長 これまで小学校入学前の者は、補助対象としていなかったが、小学校への入学年度開始前についても「新入学児童生徒学用品等」のみ支給の補助対象にできるように、交付要綱を改正したと受け止めている。

さらに、一部の支給項目について、標準単価が大きく変わったことも認識している。

問 通知の内容を踏まえ、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実施すべきと考えるがどうか。

町長 この度の通知で国の見解が見直され、就学予定者の保護者も新入学児童生徒学用品費等の補助対象者となった。県からの助言も得ながら検討したい。

費目追加は他自治体の動向も見ながら

問 現在、町の支給対象は学用品費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、医療費の5項目となっている。費目を追加すべきと考えるがどうか。

町長 国で示しているのは12項目だが、河北町に適合する項目なのか等、他自治体の動向も見ながら検討したい。

中心市街地再開発の実施は

都市計画マスタープランで
対応していく



松田 賀好 議員

食品加工所の利用状況は。

町長 今年の4月から運営できない状況だ。今、観光協会と連携し模索している。

まちづくり交付金事業の検証と効果は

問 約24億円を費やした事業だが、なぜこの事業が必要だったのか。

町長 山交跡地の利活用問題があった。

問 この事業の目的趣旨は地域生活の質の向上と地域経済の活性化を目的にしていると思うが、事業後この町はどう変わったか。

町長 どんがホールや遊蔵、流雪溝等の整備で以前より相当快適な生活空間が形成されたと思っている。

問 沢畑地区は事業費4億円。古民家利用の食事です

中心市街地の再開発は

問 3月に策定した都市計画マスタープランでも、い

まだに郊外化の計画があるが、衰退をたどる中心市街地にすむ住民の減少・高齢化は進むばかりだ。

コンパクトな町にすべきと思うが、コンパクトシティをどう捉えているか。

町長 都市計画の位置づけでは河北町全体に及ぶと考えているが、特に中心市街地の商業系の地域が河北町のコアとなる場所だ。

問 車を使わず歩いて行ける範囲を住環境とするコンパクトシティの考えから、公営の市場やNPOが経営する商業施設をコアとした中心街の再開発を行い、中心街を限界集落にしない町作りをすべきと思うが。

町長 新庁舎建設にあたり充分議論する。



閑散とした中心街

問 準要保護世帯も要保護世帯と同様に支給すべきと考えるがどうか。

町長 要保護児童生徒については、修学旅行費と医療費を除き、厚生労働省の制度に基づいて生活保護費の教育扶助として支給されている。

要保護と準要保護の認定基準が違うため、準要保護についてはその基準に従って対応したい。

新庁舎建設特別委員会 がフル稼働

5月8日に議長を除く全議員の13人による新庁舎建設特別委員会が設置され、委員長に丹野貞子副議長、副委員長に木村章一議員が選出されました。

5か月で基本計画

最近、庁舎建設に取り組んだ市町村の例では、基本計画つくり2年程度かかっていますが、河北町では5か月で基本計画を作ろうとしています。

急ぐ理由

熊本地震でいくつかの庁舎が崩壊し、罹災証明ほか様々なことで住民生活に多大な不便が生じたことから、国が特別支援制度を作りました。

その適用期限が平成33年3月までに新庁舎を完成させることで、町はその制度を活用する方針を明らかにしています。

毎週活動と意見を聞く会

特別委員会は毎週活動し、6月14日と15日には町内6か所で、合計77人の参加をいただき、新庁舎の建設場所と、どんな庁舎にすべきかなど、町民のご意見をお聞かせいただきました。16Pから18Pに、いただいたご意見を紹介いたします。

提言書1の提出

6月20日には、いただいたご意見と議員の意見を合わせてまとめた「新庁舎建設に係る提言書1」を田宮町長に提出しました。その全文を19Pにご紹介いたします。

新庁舎に 町民の ご意見

建設場所について

- 庁舎場所は現在の場所が良い。(23人)
- 現在地は中心なのか。災害時に役場機能が失われるのではないか。病院のそばに建てるべき。(2人)
- サハトの西側に庁舎を。
- 今なぜ現在の場所にとどまるのか分からな。サハトベに花の周辺が良い。(3人)
- 現在地は動物園を中心に公園として整備を。
- 場所は反対。建てるのは賛成。動物園がある状態で建てるの



サハトベに花にて

- は大変。災害があった場合、今の場所で機能が果たせるか。
- 河川の災害で今の場所は大丈夫か。
- 町の案は場所ありきの決め方。将来のことを考えて。
- 有識者会議は、2回の開催で決めたのか。
- 動物園があるので場所は狭い。移転して広い場所
- 新庁舎建設については賛成。現在地も賛成。
- 建設資材置き場など、日

- 常業務を行いながらで大丈夫か。
- 狭いのではないのか。職員駐車場は今も満杯だ。
- 除雪車の倉庫も建設用地に含めるのか。
- 現在地でよい。
- 現在地は町の中心。災害時の対応としては狭いのでは。
- 広いところに、平屋という考えもある。
- 現在地に建てるということとで手順を踏む計画なのか。
- 現庁舎の場所は町の中心なので良い。
- 現在地は利便性が高いというが、周りが住宅地で火災の場合どうするか。災害時の交通アクセスを考えると国道沿いが良い。
- 現在地では狭い。
- 動物園と庁舎が一緒では手狭ではないのか。



どんがホールにて

- 中心街の空洞化を考えれば現在地で良い。
- 人口を考えて役場の大きさが決まり、場所も決まるのではないか。
- 手順がおかしい。将来の町のビジョンがあつて規模が決まり、場所が決まるのではないか。
- 規模を決めてから場所の選定をすべきではなかったか。
- 区長への説明会で、1万5000㎡の敷地面積が必要との説明であつ

- たが、現在地は動物園を含めて約1万5000㎡だ。動物園の移転、追加の用地買収はするの。
- 動物園を移転するとしても、下野地区では住民が受け入れない。
- 完成期限が決まっているのであれば現在地で仕方ない。
- 有識者の提言に動物園があることなどが書いてあるが、理由にならない。

どんな

庁舎にすべきか

- 夢のあるまちづくりになる庁舎がほしい。(3人)
- 木材を切り出して使っていたきたい。
- 白鷹町などのように木造庁舎の検討を。
- 新庁舎は地震に強い木造で建設してはどうか。
- 地元資源の活用は賛成。
- 西里財産区の木材の利用を。
- 議場の多目的使用を考えてほしい。
- 議場を会議などにも使用



溝延研修センターにて

- できるように、夜間出入り口を設けて。
- 議場は年30回ほどしか利用しない。1階に多目的ホールとして、町民が利用できるように。
- 動物園をどうするか考えるべき。
- 将来の少子化を考えてほしい。
- 時間がないうちで間に合うのか。
- 華美にならないように。安上がりに。
- ぜいたくな庁舎にするべきではない。

- 1か所で用事が済むことを考えて。
- 高さ制限を提言したい。
- 利便性に富んだ庁舎に。
- 土地の取得についてはどうする。
- 国から金をもらわないで、町民負担の税金でじっくり建設を。
- 防災拠点としての機能を持った庁舎を。
- バリアフリー化を是非に。現在は体の不自由な方の来庁が困難。



上沢畑公民館にて

- コミセンにある上下水道課・教育委員会などの統合が必要。
- 窓口を利用しやすく。申請書類などを記入するスペース確保など。
- 空調など過剰でぜいたくな設備設置は必要ない。
- コミセンの上下水道課・教育委員会など、同じ建物にしてほしい。
- 現在は駐車場が狭いので、駐車場の拡大を望む。
- 新庁舎建設にあわせて、動物園はサハトベに花北側などに移設してはどうか。
- 新庁舎建設時には、駐車場の確保と、防災機能をもたせてほしい。
- 窓口に個別に相談できるスペースを、設置してほしい。

- 現庁舎付近の空き家、空き地を有効活用し建設してほしい。
- 人口推移をどのぐらいと考える建設なのか。
- コンパクトに建設を。
- 新庁舎入り口には、モニター画面などを設置し河北町のPR動画などを放映しては。
- 屋上などにヘリポートを設置し、防災拠点として機能するように。
- 児童会館ホールのようなスペースがほしい。

- 庁舎駐車場は、震災時に仮設住宅が設置できるようにする。
- 設計はデザイン重視ではなく、機能性を最優先に。
- 庁舎内に食堂を設置し、職員、町民だけでなく、高齢者・一人暮らしの方へ弁当の宅配など考えては。
- 今後の合併、人口減少に配慮すべき。
- 技術センターへ意見を求めるのではなく、町内の専門家(設計士)を雇うべき。
- 災害を考えれば、都市公園の他に緊急車両や被災者のための空き地が必要。
- もっと時間をかけてやるべきで今回のやり方は町民不在である。
- 町民の負担を少なく。(建設費だけでなく維持管理費も)
- 分散している施設の統合を。
- 活断層があり心配。避難場所の確保が必要。

新庁舎は現在地に、町民が誇れる夢のある木造で
議会は6月20日、田宮町長に提言書を提出しました。その全文を紹介します。
新庁舎建設に係る提言書1

議会は、役場庁舎の改築について平成29年5月8日の5月臨時会において新庁舎建設特別委員会を設置し、議会定例会の期間を除き週1回のペースで特別委員会を開催。

また、6月14日と15日には「新庁舎建設に町民の意見を聞く会」を町内6か所で開催して町民意見の把握につとめ、調査・検討を重ねています。

町当局は、河北町新庁舎建設場所に関する有識者会議の提言書を受け「新庁舎建設場所については、現在の場所が相応しい」との判断をしていると認識しております。

議会は、「新庁舎建設に町民の意見を聞く会」で町民から出された意見や、この間の特別委員会の調査・検討を踏まえ「新庁舎建設場所」について意見をまとめました。

また「新庁舎のあり方」についても、町民の意見を踏まえ議会として、現時点で一致した意見をまとめました。議会の総意として下記により提言いたします。

河北町長 田宮栄佐美殿
平成29年6月20日
河北町議会議長 岡田桂司
記

1 新庁舎建設場所については、現在の場所が相応しい

- (1) 耐震性が低い現庁舎から、できるだけ早く安全性の高い役場庁舎に切り替えるためには、現在の場所が適当と思われる。
- (2) 経済性については、現在地に建設することが安価と推定される。
- (3) 利便性（町民の交通の利便性、公共交通機関へのアクセスなど）については、町のほぼ中央に位置し、町民の交通アクセスは良好となる。
- (4) 周辺環境（周辺への効果・活性化の期待、他行政機関との関連）については、町の中心市街地にあり商店街と近接、庁舎建設はその振興・拡充に寄与し、今後の町の発展が期待できる。
- (5) 「市町村役場機能緊急保全事業」を適用し、対象建設費の22.5%の交付税措置を受けるとした場合、現在の場所が適当と思われる。

2 新庁舎建設の今後の課題とあり方

- (1) 町民の意見を聞き取るために最大限努力すること。
- (2) 今後50年以上使用する役場庁舎として、現在の場所に町民が誇れる夢のある新庁舎とすること。
- (3) 西里財産区の木材を活用し、エコの推進と林業振興の象徴として木造とすること。
- (4) 効率性（庁舎機能の集約、兼用機能、他の公共施設との一体性など）については、南側の車庫用地などを含めると一定の面積はあるが、児童動物園用地を庁舎用地にする検討が必須である。
- (5) 緑地の確保（役場周辺に緑地の確保）については、現在の都市公園を整備・拡充し、児童動物園用地活用の検討が必要である。
- (6) その他（防災拠点としての相応しさ、法令適合性、駐車場の確保など）については、交通アクセスに優れ、罹災地への到着に長時間を要しない。過去に水害等の罹災がない。しかし、来庁者や職員、公用車、議員の駐車場は、分散配置を含め、面積確保の検討が必要である。
- (7) 庁舎建設にあたっては町内の資源や人材を最大限活用すること。

新庁舎に町民のご意見

その他のご意見

●50年に1度の建設なので、慎重に吟味して進めてもらいたい。

●庁舎建設のアイデアなど、住民コンペなどを実施し、若者の意見を聞くべき。

●町民からのアイデア・意見を集約し、スピード感をもって進めてもらいたい。

●町の区長会への説明では、場所は決まったので、今回の議員と語る会は基本計画を作るための町民の意見を聞く会だと言っていた。

●区長会には役場からの一方的な説明で、庁舎のあり方について質問時間はなかった。

●補助金の延長をしてもらった方がいい。

●借金は10年もすると返ってくるのか。

●庁舎建設構想にあたっては、女性の意見も聞いてほしい。

●期限を切らずに考えては場所も。

●答申の決定的な理由が分からない。

●何の計画も示されず、現在地にすると言われても何も言うことがない。

●動物園は環境公害だ。

●新聞でも報道された。決まったことに何を言えば良いのか。

●基本構想・計画を9月まで行うことは無理。



多数の参加があった西里地区

●他市町村の例をもって、規模を参考にするのはやめるべき。

●予算は大丈夫か。

●町民負担はどうなるのか。

●今日初めて知った。もつと多くの人が集まると思っていた。

●町にあるもので人を呼び込むように。

●新庁舎の設計者は、雪国の地に住んでいる方をお願いしたい。

●建設費はどのくらいの想定で、国の補助はどのくらいなのか。

●もつと早く、町民の話を聞く会を設けてもらいたかった。

●農繁期などの時期を除いて、この会議などを開催してほしい。

●窓口応対(職員)など親切丁寧をお願いしたい。

●庁舎建設について町民の意見を聞いたのか。

●議員からの説明ではなく、行政が先に説明するべきではないのか。

●新庁舎建設費用の負担が今後不安である。

●オリンピックなどによる建設資材などの価格高騰が心配だ。

●動物園はにおいや鳴き声などがあり、近隣の町民から意見を聞いてほしい。

●町ホームページのトップページに動物園の情報が掲載されていない。

●行政サービスの更なる向上を期待している。

●庁舎建設はなぜそんなに急ぐのか。補助金があるからか。

●議会のホームページで、毎週の新庁舎建設特別委員会の会議まとめをご覧いただけます。



田宮町長に提言書を手渡す岡田議長(左)